

## 「大切な居場所」

東海学生卓球連盟 幹事長 外山瑞樹

この度は第6回日学連アゴラに文章を掲載していただき、ありがとうございます。

何について書こうか悩みましたがふと、「今いる場所が好きだな」と思い、それについて書こうと思いました。今いる場所というのは大学の部活と東海学連のことです。

文章を書くことは不得手ではありますが、最後まで読んでいただけたら幸いです。

大学に入学した頃は新しい環境に期待と同時に、大学でうまくやっていけるのか、人付き合いで失敗したらどうしようなど不安がありました。しかし、入部すると先輩方はとても親切に先輩後輩で壁をつくらず接してくださり、同期も面白い人ばかりで「ここに入ってよかった!」と感じました。私がいる中部大学の卓球部は男女ともにインカレ出場の経験もあり、レベルが高いです。そんな場所で卓球ができることは嬉しい限りです。

4年生になって短い期間ではありましたが女子のキャプテンもやらせていただきました。同期がはやくに引退したこともあり、4年生の女子が私1人に対して後輩が10人以上でした。学連の集まりや学科の実習などで不在の日が多く「上級生としてまとめていけるのか」と不安がありました。しかし3年生を中心にしっかりと動いてくれて、後輩や男子の同期とも連携をとってやっていけたのではないかと思います。

部員とのトラブル、先輩の卒業、同期がはやくに引退、インカレ出場にあと一步のところでの敗戦、個人戦で自分の納得いく試合結果が残せられないなど、寂しいこと悔しいこと情けない姿を見せたこと、多々ありました。それでもチームの皆が一緒の目標に向かって進んでいたから前を向いて部活に取り組んでいけたと思っています。

現在は引退こそしましたが時折部活に参加し、後輩達と練習をしています。私が相手をしているのか逆にしてもらっているのかわかりませんがとても楽しい雰囲気の中で卓球ができて幸せです。



中部大学卓球部



話は学連に移ります。学連の存在を知ったのは入学する前のことで、卒業される先輩の後任としてやってもらえないかと部長の方をお願いをされたのがきっかけでした。やるかどうか迷いましたが、試合などの運営に興味があったことと人間関係が縦と横に広がるということを知り、やってみようと思えば4年生まで続け、幹事長を務めるようになっていました。学連では様々な大学の人と知り合うことができ、インカレや西日本大会など全国規模の大会で他の地方の学生とも交流することができます。理事の方ともお話をする機会が多く、刺激を頂いています。

学連では学生同士の連携がとても重要となると感じています。特に今年は東海でインカレがあり、主幹学連としての仕事が多くありました。事前準備や会場設営、開催中の運営など慌ただしく過ぎていきました。慌ただしくはありましたが苦痛と感じたことはありませんでした。幹事の皆がいてくれたからです。各々が自分の役割をしっかりと果たしてくれて、休憩も交代しつつ回してくれて、隙間時間の何気ない会話が楽しくて、「最後まで頑張ってみよう！」と頑張ることができました。勿論インカレだけでなく、普段の試合や学連の会議などでも同じです。試合で泊まる時や帰り道では純粋に学生としての時間をともに過ごすことができ、本当に楽しいです。幸せです。



### 東海学生卓球連盟

キャプテンと幹事長という二足の草鞋を履くことになりましたが、中部大学卓球部の皆、東海学生卓球連盟の皆のおかげで為せています。本当に感謝が絶えません。時には失敗をして迷惑をかけることもあります。それでも今の私がいるのは安心できるこの居場所があるからです。今に限らず後輩達に良い雰囲気のまま引き継いでいけるよう、今ある居場所を大切に、真摯に、努力を惜しまず、進んでいきたいと思っています。

最後までお読みいただきありがとうございました。